

狛江市 ごみ半減新聞

K O M A E

Vol.45 平成24年11月

発行 狛江市建設環境部清掃課
〒201-0004 狛江市岩戸北1-1-11
狛江市ビン・缶リサイクルセンター内
☎03-3488-5300(直通)



平成24年8月6日の火災 ごみの中から見つかった発火物

平成24年度に入ってから の火災発生状況

- 平成24年4月27日清掃工場内の不燃ごみピットで発生。
- 平成24年8月6日清掃工場内の可燃ごみピットで発生。
- 平成24年8月17日清掃工場内の不燃ごみピットで発生。

※以上3件の火災は早期に鎮火し、大事に至りませんでした。

※この他にも小規模なものが発生しています。

発火物は中身を使い切って、ビン・発火物の日にお出してください。

「1本ぐらいいいだろう」とか「面倒くさいから…」と、分別しなかった1本のスプレー缶が原因で、狛江市のみならず、稲城市・府中市・国立市のごみ処理ができなくなってしまう状況に発展することにもなりかねません。このような状況になれば、皆さんのお宅から収集することもできなくなってしまいます。「あれ?」とか「どっちだっけ?」と思ったときには、ごみリサイクルカレンダーを活用していただくか、清掃課にお問い合わせください。

8月17日(金)狛江市のごみを処理している清掃工場(クリーンセンター多摩川 稲城市大丸1528)内の不燃・粗大ごみ処理施設内において、処理中の不燃ごみから出火し、火災が発生しました。すぐに初期消火活動を行ったため早期に鎮火し、大事には至りませんでした。

現場検証の結果、出火元は狛江市から収集された不燃ごみと見られ、出火原因の調査が行なわれました。

狛江市内で収集されたごみの中から 火災が発生しました!

不燃ごみと発火物の分別の 徹底をお願いします

これまでの火災発生状況を見ると、不燃ごみと粗大ごみに関係するものから火災が発生しております。調査の結果、不燃ごみピットで火災が発生した場合は、混入していた発火物による可能性が非常に高くなっています。

狛江市では、このような火災を想定して、不燃ごみと発火物の収集日を変えています。未だ分別が徹底されていないようです。発火物(スプレー缶・ライターなどはビンと同じ日に収集しますので、必ず中身を使い切ってから、袋などには入れないでビンと同じコンテナに入れて出してください。みなさまのご協力をお願いします。

消火作業終了まで ごみ搬入がストップ

この火災により、クリーンセンター多摩川で処理している構成市(稲城市・府中市・国立市・狛江市)の全てのごみが、消火作業が終了するまでの間、搬入できなくなりました。

このような状況になると、以後の収集作業が行えなくなるばかりか、施設に甚大な被害が生じた場合は、長期間にわたってごみ収集処理が行えなくなってしまう。



平成24年8月17日の火災
不燃ごみの中から見つかった着火用ガスボンベ等